

公益社団法人 日本船舶海洋工学会
平成23年度（第116期）事業計画
(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

平成23年3月18日 理事会承認

平成23年4月27日 理事会承認

調査研究事業

【1】講演会

平成23年春季講演会の開催

期日：平成23年5月19日、20日

場所：福岡県中小企業振興センター（福岡市博多区）

講演論文集の発行、オーガナイズドセッション、ポスターセッションの実施

【2】論文集発行

論文審査委員会による投稿論文の審査を経て下記の論文集を刊行する。

1. 日本船舶海洋工学会論文集 第13号 平成23年6月刊行
2. 日本船舶海洋工学会論文集 第14号 平成23年12月刊行

【3】英文論文集（Journal of Marine Science and Technology）刊行

編集委員会による世界各国からの投稿論文の審査を経て下記の論文集を刊行する。

1. Journal of Marine Science and Technology Vol.16 No.2 2011年6月刊行
2. Journal of Marine Science and Technology Vol.16 No.3 2011年9月刊行
3. Journal of Marine Science and Technology Vol.16 No.4 2011年12月刊行
4. Journal of Marine Science and Technology Vol.17 No.1 2012年3月刊行

【4】研究委員会活動

1. 研究企画委員会の開催

研究企画委員会を年3回開催し、調査研究活動の活性化と企画、シンポジウム等対外的な研究活動を立案する。

2. 研究企画部会の開催

- ・性能・運動分野
- ・構造材料・材料溶接分野
- ・工作分野
- ・設計・艦装分野
- ・海洋工学・海洋環境分野
- ・情報技術分野

3. 研究委員会の開催

(1) プロジェクト研究委員会

- P23 東アジア物流ネットワーク研究委員会
- P24 強非線形流体構造連成解析研究委員会
- P25 海洋の大規模利用に対する包括的環境影響評

価普及推進研究委員会

- P26 次世代造船システムの構想設計に関する研究
- P27 弾性振動を含む動的荷重を考慮した船体強度評価に関する研究委員会
- P28 ISO18072シリーズ最終強度算式研究委員会
- P29 船舶操縦運動予測モデルの標準化に関する研究委員会
- P30 次世代船舶を目指した艦装工作法の改善研究委員会
- P31 CFDによる船舶の省エネ性能評価に関する研究委員会
- P32 大型船の係船装置の設計指針研究委員会
- P33 船上艦装装置の多様な駆動方式の選定指針に関する研究委員会

(2) ストラテジー研究委員会

- S7 摩擦抵抗低減研究委員会
- S8 海洋環境戦略的管理研究委員会
- S9 海洋立国基本戦略検討委員会

4. 研究会の開催

- ・推進性能研究会
- ・運動性能研究会
- ・造船設計・生産技術研究会 造船設計部会
- ・造船設計・生産技術研究会 船体艦装工作部会
- ・造船設計・生産技術研究会 電気艦装部会
- ・造船設計・生産技術研究会 機関艦装研究部会
- ・材料・溶接研究会
- ・建造革新研究会
- ・海洋工学研究会
- ・海洋環境研究会
- ・情報技術研究会

【5】国際事業

- ・船舶海洋研究に係る有識者会議として、平成23年11月、神戸にて世界船舶海洋工学フォーラム（仮称）を開催する（日本財団助成事業）。
- ・調査研究に関わる国際的な活動を行うために下記の委員会等を開催する。
JSSC委員会 船体構造と安全性に関わる調査研究
JTTC委員会 船舶性能に関わる調査研究

【6】シンポジウムの開催

調査研究活動の発信を目的として下記のシンポジウムを開催する。

- ・海事3学会合同「超省エネ船シンポジウム」
平成23年7月13日、於：東京
- ・世界船舶海洋工学フォーラム
平成23年11月、於：神戸

【7】支部活動

1. 東部支部

(1) 東部支部講演会の開催

日時：平成 23 年 11 月 15 日

場所：タワーホール船堀（東京都江戸川区）

講演論文集の発行、ポスターセッションの実施

(2) 東部支部構造研究会

船体構造に関する研究発表、動向調査、船体構造基礎知識の普及等の研究会を年 4 回開催する。

(3) ワークショップの開催

船舶の環境対策ほか、話題性あるテーマについてワークショップを年 2 回開催する

2. 関西支部

(1) 関西支部講演会の開催

期日：平成 23 年 11 月 8 日、9 日

場所：神戸市産業振興センター（神戸市）

講演論文集 CD の発行、招待講演、基調講演、オーガナイズドセッション、学生ポスターセッションの実施

(2) 特別講演会の開催

期日：平成 24 年 1 月

場所：神戸クリスタルホール（神戸市）

(3) シンポジウムの開催

流体力学に関連するシンポジウムおよび構造力学に関するシンポジウムをそれぞれ年 1 回開催する。

(4) KFR（関西船舶海洋流体力学研究会）

船舶流体力学に関する研究会を年 5 回実施し、シンポジウムを共催する。

(5) KSSG（関西船体構造研究会）

船舶および海洋構造物の構造に関する研究集会を年 5 回実施し、シンポジウムを共催する。

(6) 海事教育支援活動

海事研究・理科教育支援、英文技術書の翻訳、造船用具等の保存活動を行う。

3. 西部支部

(1) 西部支部講演会の開催

日時：平成 23 年 11 月 1 日、2 日

場所：シーモールパレス（下関市）

講演論文集の発行、ポスターセッションおよび優秀講演賞の表彰を行う。

(2) シンポジウムの開催

船舶からの大気汚染防止法と CO2 排出削減に関するシンポジウムを開催する。

(3) 西部支部構造研究会

船体および海洋構造物の構造に関わる研究会を年 3 回実施する。また、講習会を年 1 回開催する。

(4) 西部支部性能研究会

船舶の性能に関する講演会を 1 回開催する。

啓発・広報事業

【1】能力開発センター

船舶海洋技術者の能力開発に係る下記の活動を行う。本センターに運営委員会を置き、能力開発に関わる企画、調整を行う。

1. 教科書編纂

造船分野における技術者育成のために、船舶算法と復原性、船体運動、抵抗・推進、船体構造（構造編）、船体構造設計（強度編）、船体構造（応答編）、造船工作法、船体艤装、性能設計および海洋開発の 10 教科から平成 23 年度は性能設計、船体構造設計（応答編）および海洋開発に関する 3 教科の教科書を作成する。（日本財団助成事業）

2. CPD の推進

継続教育（CPD）ポイント構築システムの改善を検討すると共に、他学会との協調を考慮しながら CPD ポイント制度の普及に努める。

3. 技術者資格支援

技術士補（技術士第 1 次）資格取得を支援するため、船舶海洋技術者を対象とした講習会を開催する。

4. 大学教育支援

船舶海洋系大学の教育プログラムの JABEE 認定を支援する。

【2】造船技術者社会人教育

日本造船工業会、日本中小型造船工業会と共催し造船技術者社会人教育（第 11 回）を実施する。

【3】若手研究者・技術者海外派遣

研究活動の推進および海外研究者との交流ネットワーク構築を目的として、若手研究者の海外派遣を行う。派遣人数は 4 名（予定）とする。

【4】海洋教育推進活動

1. 海洋教育推進委員会

(1) 委員会の開催

運営委員会、幹事会および支部委員会を開催する。

(2) 海洋教育フォーラムと海洋教育セミナーの開催

一般市民を対象に海洋教育フォーラムを開催する。また、主に海洋教育担当者を対象として、海洋教育の事例発表等を主体とした海洋教育セミナーを実施する。

(3) 海洋教育に関する広報活動

海洋教育に関連する情報、論文、報告書等を学会誌に掲載する。また、海洋教育コンテンツをホームページに掲載する。さらに、一般からの海洋に対する問い合わせ等についても対応する。

(4) 海洋教育に関する企画

一般向け海洋教育 / 実習船に関する海洋教育の調査 / 情報発信調査 / 教材作成 / 科学館・博物館との連携 / 施設・工場見学等の企画を立案し実施する。

2. 青少年啓蒙活動

青少年を対象として下記の出前講義、体験型講義等の提供を行なう。

- ・夏休みおもしろ船教室
- ・船と海の工作実験広場
- ・水中ロボコン等
- ・青少年セミナー

3. 一般向講演会

海洋分野に関する国民の知識や理解の向上を図るために、高校生や一般を対象とした講演会を全国各地で開催する。開催する機関は、船舶海洋系 10 大学を予定している。（日本造船工業会補助事業）

4. 夏の学校

学生、若手研究者、社会人を対象として、運動・性能

分野と構造・材料分野の合宿形式の「夏の学校」を実施する。

【5】会誌発行

下記のとおり学会誌「KANRIN」を発行する。

号	本文頁数	発行年月
第36号	85	平成23年5月
第37号	150	7月
第38号	85	9月
第39号	85	11月
第40号	85	平成24年1月
第41号	85	3月

【6】電子情報サービス

- ・国内外に向けて学会情報発信の推進と情報の管理を行う。
- ・ホームページの運用と充実を図る。

【7】学会褒賞

下記の褒章および推薦を行う。

- 学会賞（論文賞）
- 学会賞（発明・考案等）
- 奨励賞（乾賞）
- 船舶海洋技術賞（吉識賞）
- 奨学褒章
- 功労会員の推薦

【8】シップ・オブ・ザ・イヤー授賞

シップ・オブ・ザ・イヤー2010 応募作品の広報、選考会および表彰式を開催する。

【9】広報活動

会員拡大を目的とするPR活動を実施する。

【10】支部活動

1. 東部支部
 - (1) 異業種交流
異業種の若手技術者を対象とした研修会等を企画、開催する。
 - (2) 若手ネットワーク
若手技術者・研究者の活性化を目的としたネットワークを運用する。
 - (3) 海事産業への誘い
海事産業企業と学生との交流を目的とした企業のパネル展示を行い、企業技術者と学生との交流をはかる。
 - (4) 若手優秀講演賞
東部支部講演会において若手の優秀な講演を表彰する。
2. 関西支部
 - (1) 若手技術者研修会
若手技術者を対象として技術力の向上と技術交流を目的とした研修会を年4~5回開催する。
 - (2) 造船資料保存委員会
資料の収集、整理等およびホームページの更新を行う。
 - (3) 支部長賞表彰
船舶、海洋工学および海事一般に関する優れた成果を公表した者に支部長賞を授与する。また、学生会員による優秀な学術ポスターに支部長賞（奨励）を授与する。

(4) セミナー・講習会

1)船舶海洋に関連の深い場所や施設を訪問し、解説および見学を行う。

2)海事産業説明会

大学生を対象に日本の海事産業説明会を行う。

期日：平成23年12月10日

場所：大阪産業創造館

(5) 海岸清掃

国際ビーチクリーンアップ活動に参加して、神戸市須磨海岸の清掃を実施するとともに、海岸ゴミの調査活動に協力する。9月下旬に実施予定。

(6) 学生会員募集

学生会員勧誘のための学会紹介パンフレットを製作し、学生会員の拡大を図る。

3. 西部支部

(1) 優秀講演表彰

支部講演会における優れた若手発表者に優秀講演賞を授与する。また、学生会員による優秀なポスター発表を表彰式する。

(1) メールマガジンの発行

西部支部メールマガジンを隔月に発行し、支部所属造船所のトピックス紹介等を行う。

事務

【1】会員管理

会員の入退会、資格変更等会員情報の維持、管理を行う。

【2】規則の改訂等

理事会において必要な内規の改定を行う。

総会において必要な細則の改定を行う。

【3】委員会委員の委嘱

理事会の議を経て各種委員会委員の委嘱を行う。

【4】会合

1. 定時総会

期日：平成23年5月19日

場所：福岡県中小企業振興センター（福岡市博多区）

議案：平成22年度事業報告の件

平成22年度決算の件

役員選任の件

2. 理事会

理事会を6回開催する。

3. 支部総会等

(1) 東部支部

東部支部総会

期日：平成23年5月12日

場所：日本海事協会東京支部（東京）

運営委員会を年6回開催する。

(2) 関西支部

関西支部総会

期日：平成23年5月13日

場所：三菱重工業神戸造船所（神戸市）

商議委員会を年 1 回開催する。

運営委員会を年 9 回開催する。

(3) 西部支部

西部支部総会

期日：平成 23 年 4 月 26 日

場所：九州大学箱崎キャンパス創造パビリオン

運営委員会を年 4 回開催する。